

質 問 書

2020 年 9 月 17 日

「エチオピア国アディスアベバ上下水道公社無収水削減管理能力強化プロジェクト」

(公示日:2020 年 9 月 2 日／公示番号:20a00432)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P20 企画競争説明書 5(2)3)	質問ではございませんが、企画競争説明書 P20 本文 2 行目、「依然として敷設後 30 年から 50 年が経過した GS 管が 35 万 km 以上残されている」とありますが、「詳細計画策定調査報告書」P40 表 4.2.1 では、「35 万m(支局管轄)」とあります。35 万 m が正しいものと理解しております。	ご理解の通り、正しくは 35 万 m であり、訂正致します。
2	P25 第3 5. (4)本邦研修／第三国研修 3)直後の段落	「本邦研修と連続して第三国研修を行う場合は、受入費用の内、渡航費(略)は JICA が直接支払うため、契約金額には含めない」とありますが、この場合、研修員の第三国での滞在に対する旅行保険料や査証取得費用も、JICA より直接支払われるとの認識でよろしいでしょうか。	本邦研修と連続して第三国研修を行う場合、国際航空券及び第三国滞在時を含めた旅行保険料は JICA から直接支出しますが、第三国の査証取得手続きは JICA の支援の下で本業務の受注者が対応することとし、査証取得に必要な経費は別見積で計上して下さい。
3	P27 第3 5. (6) 1)(ウ)経費	「本邦企業によるデモンストレーションを実施するために必要な経費(人件費(講師謝金)、旅費及び機材送料)を直接経費(国内業務費、技術研修費)として支出する」とありますが、上記「人件費(講師謝金)」とは、デモンストレーションを実施する本邦企業の構成員の人件費との理解でよろしいでしょうか。 また、上記「必要な経費」について、デモンストレ	ご理解の通り、「人件費(講師謝金)」はデモンストレーションに参加する本邦企業構成員の方の人件費を想定しています。人件費は本邦研修の実施経費として「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン(2017 年 6 月)」に沿い、講師謝金として支出して下さい。 デモンストレーションに参加する企業数や想定される企業はプロポーザルで提案することとし、

		<p>ーションに参加する本邦企業の企業数や人数、企業所在地(交通費)や輸送機材の数などの目安がない状態での見積もりは困難です。ついては、本費用を貴機構指定の定額での見積もりへの計上としていただけませんかでしょうか。</p>	<p>デモンストレーションに必要な経費(人件費、旅費及び機材送料等を含む)は50万円で定額計上して下さい。</p>
4	P27 第3 5. (6) 2)(ア)調査概要	<p>「実際に当該技術／機材を活用して本プロジェクトで技術移転を行う場合、コンサルタントは当該企業の技術者を補強団員として追加し、当該技術を用いた技術移転活動(機材の維持管理・保守整備を含む)を担うことを検討する」とありますが、上記補強団員を追加することとなった場合、同団員の活動に係る報酬及び旅費等の直接経費については、変更契約にて別途契約金額に追加いただけるとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解の通り、契約変更にて対応致します。</p>
5	P.31 企画競争説明書 6(2)2)等	<p>管路更新計画に係る設計業務等は現地再委託とありますが、設計は計画作成後に行うものと思います。ここでの設計業務とはどの程度の精度を想定されているのでしょうか。</p>	<p>想定する精度は、ローカルテンダーによって、求められる更新工事の品質・工期等を確保できる現地工事業者を選定するための入札図書一式を準備するレベルです。</p> <p>求められる工事品質については、既存管網の調査により管材や管施工上の問題点等を把握した上で工事仕様書等において規定されるもので、入札図書の図面・仕様書等作成の過程において専門家の助言が求められます。</p> <p>また、実際のローカルテンダーによる更新工事の規模は、利用可能な資金規模にもよるので、更新計画で対象とした路線全部をカバーできない可能性もあります。その場合、設計業務の対象と</p>

			する優先路線について管路更新計画の策定段階で、JICA と協議して設定することを想定します。
6	P43 第4 2. (1)業務量の目途	当該箇所には全体の業務量の目途として約 95.8M/M と記載されておりますが、貴機構ウェブサイト上「公示」では、業務量(人月)想定として96人月と記載されております。どちらが正となりますでしょうか。	95.8M/M が正となります。
7	44P-45P 第4 業務実施上の条件 5.資機材調達 (1)コンサルタントが調達する機材	想定する機材において、他の無収水削減の技術協力プロジェクトでは PC やプリンター等について調達の対象とされております。本プロジェクトにおいても必要と想定される場合は、プロポーザルにおいて提案可能でしょうか。	企画競争説明書 45 頁に記載されている想定する機材の他に PC やプリンター等の調達が必要と想定される場合には、プロポーザルにおいて別見積で提案して下さい。
8	P46 第4 業務実施上の条件 5.資機材調達 (2)JICA が調達する機材	「運転手傭上や燃料等の経費はプロジェクトより支出するため、本見積もりに計上すること」とありますが、本ピックアップトラックに付保する車両保険、及びその他部品交換等のメンテナンスに要する経費も、本プロジェクトからの支出並びに本見積もりへの計上が必要となりますでしょうか。	当該箇所を下記の通り訂正致します。(下線部が訂正(追記)箇所) (2)JICA が調達する機材 「本プロジェクトの供与機材として JICA エチオピア事務所が活動用車両 2 台を新規調達する予定(C/P 機関と協議の上、車両スペックは決定する予定なるも、 <u>想定はピックアップトラック 2 台。</u>)。当該車輛は C/P がプロジェクト活動用に管理・使用するため、 <u>運転手傭上や燃料、メンテナンス費用、車両保険等の経費はプロジェクトからは支出せず、見積計上は不要である。</u> 本プロジェクトに従事する専門家の通勤・業務移動用に必要なレンタカーの経費は別見積で計

			上すること。」
9	P.46 第 4 業務実施上の条件 5.資機材調達 (2)JICA が調達する機材	配布頂いた詳細計画策定調査報告書(2020 年 8 月)の中で、各支局において漏水管補修チームが 3~4 チームにあるにも関わらず、車輛は 1 台しかなく漏水管現場への機動性が極めて悪い、という指摘があります。この状況を改善するために、パイロット支局が使用するピックアップトラックを貴機構で調達されると理解しました。そのような理解で宜しいでしょうか。それとも、コンサルタント側が使用することを前提とした機材でしょうか。	上記質問番号 8.への回答にも記載の通り、パイロット支局が使用する活動用車両の調達を想定しています。コンサルタントが通勤・業務移動用に使用するレンタカーの経費は別見積で計上して下さい。
10	P.46 配布資料	配布資料にある R/D より、本プロジェクト専門家のオフィススペースは先方政府より便宜供与いただけると理解しておりますが、プリンターもしくは複合機も便宜供与に含まれますでしょうか。すなわち、同 R/D 中 Annex2、Inputs By Ethiopian Side にある”2 AAWSA's existing facilities and equipment for activities”にプリンターもしくは複合機は該当しますでしょうか。	プリンターもしくは複合機は先方政府の便宜供与事項に含まれていないため、本プロジェクトで調達が必要と考えられる場合にはプロポーザルにおいて別見積で提案して下さい。
11	(案)エチオピア国アディスベバ市 無収水削減管理能力強化プロジェクト 詳細計画策定調査報告書 (2020 年 8 月) 11P 第 2 章 協力の枠組み	配布頂いた詳細計画策定調査報告書(2020 年 8 月)の p11、(1)パイロット支局の選定基準について」に関する質問です。脚注に、11 パイロット支局の考え方については後述の 4 章 4-3-5 を、合わせて参照。とありますが、報告書には 4 章の 4-3-5 がありません。参照する該当部分をご	正しくは「4-2-6 パイロット候補地(支局)の現状」であり、訂正致します。

	2-5 特記すべき協議事項 (1) パイロット支局の選定基準に ついて 脚注 11	教示願います。	
--	--	---------	--